

笹川堯杯・第3回全日本少年少女空手道選抜大会東北地区予選会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 笹川堯杯・第3回全日本少年少女空手道選抜大会東北地区予選会
- 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会
- 3 主管 宮城県空手道連盟
- 4 後援 (公財) 全日本空手道連盟
- 5 会場 利府町総合体育館
〒981-0131 宮城県宮城郡利府町青山一丁目57-2
電話番号：022-356-6019

6 大会日程

令和5年11月4日(土) 1～4年 個人形・組手及び団体形競技

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開会式
9:15	競技開始 個人形 団体形
	個人組手
18:00	競技終了

令和5年11月5日(日) 5・6年 個人形・組手及び団体組手競技

8:00	開館・受付
8:30	審判会議
8:50	開始式
9:15	競技開始 個人形・個人組手
	団体組手
17:00	競技終了

- 7 種目 小学生1～6年生男子・女子の組手及び形競技各個人戦(人数制限なし)
団体組手・形 男女(各県2チーム)
- 8 参加種目 同一選手が形と組手の両種目(個人・団体)に重複し出場しても良い。

種目	形競技			組手競技		
選手	男子	1年～6年	団体 4,5,6年	男子	1年～6年	団体 1～6年
	女子	1年～6年	団体 4,5,6年	女子	1年～6年	団体 1～6年
監督	各団体 監督2名					
コーチ	無し					

<上位大会>

- ※1 第3回全日本少年少女空手道選抜大会には個人種目及び団体形は上位4名・4チームまで参加できます。団体組手は個人種目の上位4名で4チーム編成参加します。
- ※2 全国大会への出場権を獲得した選手・チームは、基本的に辞退は出来ません。
- ※3 大会要項別紙の通り(個人組手・形、団体組手・形出場条件)確認してください
- ※4 出場費は各県連で対応願います。
- ※5 参加申込・参加費振込は東北地区協議会が一括で申し込みます。

9 競技規定

- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟<空手競技規定>により行う。
競技規定改訂（2022年4月1日）採用
本大会より「わかれて・つづけて」「不活動」を採用します。
- (2) 形競技
 - (ア) 個人戦はトーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦に限り1名ずつで各コートにて学年別男女別に競技する。3位決定戦は行わない。
団体戦（4、5、6年混合 or 単独）は1チームずつ各コートにて男女別に競技する。3位決定戦は行わない。
 - (イ) 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
 - (ウ) 1回戦からベスト8までは、全空連基本形（ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段～五段）の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - (エ) 準決勝以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記（ウ）の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - (オ) 団体形の分解は実施しない。
- (3) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - (イ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更（短縮）せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
 - (ウ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差、又は競技終了時に得点の多い方の選手を勝ちとする。但し、競技時間終了時に同点で「先取」がない場合は、審判員の判定により勝敗を決する。
 - (エ) 団体戦において、初戦は勝敗が決しても6人全員が競技する。
先鋒（1年）次鋒（2年）中堅（3年）4将（4年）副将（5年）大将（6年）とする。
 - (オ) 競技規定、付録10：14歳未満の空手道競技/組手試合（12歳未満）を適用する。
- (4) 安全具
 - (ア) 組手全種目に全空連検定品である小学生用拳サポーター（赤・青リバーシブル）、メンホーNo.6かNo.7、ボディプロテクター、小学生用インステップガードとシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。
※高体連用インステップガード新製品（全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年新製品）は使用可能とする。
 - (イ) 小学3～6年生男子選手は必ずセーフティカップを着装する。
1、2年生は所属の指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。
 - (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、十分注意すること。
- (5) 服装
 - (ア) 選手は、競技規定に則り清潔な白の空手衣を着用しなければならない。
 - (イ) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
 - (ウ) 選手は、青帯・赤帯を各自用意して着用する。主催者側では準備しない。
 - (エ) 選手の胸マークは学校名又は県名・道場名（（公財）全空連に加盟している流派・会派のマークは認める）であること。又、胸マークが無くても良い。袖の県名表示等は原則として規制しない。度を越え誇張するような表

示であれば、審判長の判断で取り外させることができる。

- 10 表彰
- (1) 優勝者、準優勝者、第3位（2名）まで副賞を添えて賞状を授与し、第5位入賞者には賞状を授与する。
 - (2) 入賞者の表彰は、競技の終了した種目から順次行う。
 - (3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
 - (4) 笹川 堯杯（男女） 団体種目の入賞者に次の得点を付与する。

<団体戦>

- ① 団体組手競技 1位30点 2位20点 3位10点
- ② 団体形競技 1位20点 2位13点 3位7点

*総合得点が同点の場合は優勝者数の多い県が上位とする。

*さらに同点の場合は全てを同点優勝とする。

- 11 審判員
- (1) 大会審判団は、「全空連」公認審判員をもって次により編成する。また、推薦審判員は（定年制65歳以下）とする。
 - (2) 主管県を除く各県は、公認全国・地区組手審判員6名を選び、10月15日（日）まで大会事務局経由で大会委員長宛て文書をもって推薦する。
 - (3) 主管県は(2)に記載する人数にかかわらず、大会委員長と協議し、その指示により運営上必要な人数を推薦する。
 - (4) 大会委員長は、各県から推薦され適当と認められたた審判員をもって、大会審判員を委嘱する。

- 12 安全対策
- (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
 - (2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。
 - (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。
 - (4) 監督、及び選手は、健康保険証を携行すること。

- 13 出場資格
- (1) 選手は、「全空連」の会員登録者で、公認段位及び公認級位取得者であること。
 - (2) 監督は全空連会員登録者・公認段位取得済であらかじめ届出があった者とする。（20歳未満の監督は認めない）
監督は腕に監督の腕章を付けること。

- 14 組合せ抽選 (1) 実行委員会において厳正に行う。

- 15 出場申込
- (1) 選手は、出場費として一種目 2、500円を納入しなければならない。団体種目1チーム（組手6、000円）・（形4、500円）を納入しなければならない。
 - (2) 別途定める出場申込書を提出すること（原則として、選手名簿等はエクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること）。
 - (3) 申込書の送付及び出場費送金先（口座）は次のとおり
 - (4) 県連事務局が取り纏め一括申込み。

*個人での申込みは受付しません

- 17 宿泊等・弁当 各県連・各道場・学校で対応願います。

- 18 その他
- (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
 - (2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は、参加できないので注意すること。
 - (3) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当た

らせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。

- (4) 駐車場には台数制限があります。満車の場合はショッピングモール等の駐車
駐車場をご利用ください。(徒歩15分)